



THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO

CHARTERED ON NOVEMBER 21, 1955

2017年9月

c/o YMCA  
MINAMI 11 NISHI 11  
CUO-KU SAPPORO  
〒064-0811  
011(561)5217

# 札幌クラブ

The Service Club of YMCA  
The International Association of Y's Men's Clubs

YOUTH ★★ ★ ユース

## — 主 題 —

国際会長

Let Us Walk in the Light- Together  
—Fellowship across the Borders—

Henry Grindheim (ノルウエー)

札幌クラブ役員

アジア会長

Let Us Walk in the Light- Together

Tung Ming Hsiao (台湾)

会 長 柴田 伸俊

東日本区理事

広げよう ワイズの仲間

栗本 治郎 (熱海)

副会長 中田 千鶴

北海道部部长

EMCの強化

森 熊治郎 (札幌北)

書 記 中田 靖泰

札幌クラブ会長

楽しいワイズ

柴田 伸俊 (札幌)

会 計 秋葉 聡志

直前会長 宮崎 善昭

## 今月の聖句

この最も小さい者の1人にしたことは、わたしにしてくれたことなのである。  
マタイによる福音書25章40節 (佐藤雅一選)

北海道部会・第1回評議会～「EMCの強化」生き生き、楽しく、元気に 2017年



8月19日(日)、東日本区の前陣を切って「北海道部第1回評議会・部会」が開かれました。北海道部役員、北海道部4クラブ役員、東日本区役員、西日本区ビジターなど合計25名が集り、新年度への決意を新たにしました。部会では、決算、予算、事業計画審議。特にCS資金について熱い議論を戦わせました。森部長提案の「イクステンション委員会」の設立を含めて全議題を可決しました。来賓の栗本治郎東日本区理事が新年度の方針、特にイクステンション、会員増強を全員、全クラブで取り組もうと熱く訴えました。

部会では、聖公会司祭・北海道YMCA理事の大友正幸氏が「パレスチナの今」と題して、見続けてきたパレスチナの歴史を語りました。数十年前は小さな点だったイスラエルが今は中東を覆い、逆にパレスチナは分断され点になっている画像に息のみをのみました。

懇親会は元札幌北クラブ会員の佐藤さんのお店「ケーダッシュ」で行われました。京都パレスの岡西夫妻も参加し、有意義な交歓・交流の場となりました。沼津東日本区大会のデモンストレーションが行われ、終了後は多くが二次会に薄野に消えていきました。

2017年8月例会

在籍会員

10名

例会出席

6名

メネット

0名

メーキアッ

1名

出席報告

ゲスト

0名

ビジター

0名

計

8名

出席率

60%

## 札幌ワイズメンズクラブ

2017年9月例会

日時 2017年9月19日(火) 18:30~20:30

会場 北海道YMCA 第1教室

札幌市中央区南11条西11丁目1-2

Tel. 011-561-5642

会費 1,000円

## プログラム

司会 中田 靖泰

- ① 開会点鐘 札幌クラブ会長 柴田 伸俊  
 ② ワイズソング・ワイズの信条 全員  
 ③ 聖句 佐藤 雅一  
 ④ 開会挨拶 札幌クラブ会長 柴田 伸俊  
 ⑤ 誕生日

9月8日 秋葉 聡志

結婚記念日

なし



卓話

## 「フリーライミングでコミュニティづくり」

大越 創

(ウエルネスセンター職員)

- ⑥ 諸報告  
 ⑦ YMCA報告  
 担当主事 佐藤 雅一  
 ⑧ みんなで歌おう



## 「雪山賛歌」

- ⑨ 閉会挨拶 札幌クラブ会長 柴田 伸俊

## 何故この聖句を? 担当主事 佐藤 雅一

今年もベトナムの農村で教室建設を行って来ました。新しい教室が出来た分校は、1~5年生が通っていますがこれまで3教室しかなく十分な授業が行えません。今回4教室になりましたが、まだ1教室足りないのが現実です。学びたくても学べない子供達の中にイエスの姿があり、その小さい者のためにこの教室が用いられると信じて教室を作り続けてきました。YMCAの国際協力事業は、主から受けた賜物を、最も小さくされた人々と共にいるイエスの元にお返しする働きでありたいと思っています。

## 札幌ワイズメンズクラブ 8月例会

日時: 2017年8月22日(火) 18:30~20:30

場所: 北海道YMCA 総主事室

参加者: 秋葉、佐藤、柴田、中田千、中田靖、宮崎

ビジター: 義村小夜子(札幌北) 合計 7名

伏木会員と川上会員は業務多忙、安田会員は入院加療中、小野会員は海外出張中、ということで、札幌北クラブ義村会員の応援を得て7名という少数例会になりました。卓話は、秋葉総主事が、いよいよ10月から使用されることになる「YMCAの新ブランド・スローガン」について詳しく語りました。「ポジティブ・ネット」、「みつかる・つながる・よくなる」という3つのバリュー、「鳥が飛び立つ」イメージのまだ部外秘の新ブランドロゴについて詳しく解説しました。「今月の歌」は甲子園に思いをはせて「ああ栄冠は君に輝く」を歌いました。



## 札幌ワイズメンズクラブ 8月事務会

日時: 2017年8月29日(水) 19:00~20:00

場所: 北海道YMCA 総主事室

参加者: 秋葉、佐藤、柴田、中田千、宮崎

確認・協議事項

- ① 9月例会、9月ブリテン:  
 ▼聖句 佐藤雅一、巻頭言 小野 健  
 ▼誕生日 9/8 秋葉聡志  
 ▼卓話 大越 創「フリーライミング」  
 ② 安田文子会員前期休会の件 承認  
 会費減額の件  
 ③ 9月18日パークゴルフ参加者の件  
 ④ YMCA 創立120周年記念コンサートチケット  
 9月19日例会で集計。  
 ⑤ 10月15日YMCA バザー出品品目、参加者

卓話者紹介

大越 創 (おおこし はじめ)

北広島市出身。北広島高を卒業後、千葉大教育学部でスポーツ指導論などを学ぶ。千葉市少年自然の家職員などを経て、2013年に帰郷して北海道YMCA職員に。幼児や小学生などに体操やフットサルを指導。「えぞモンキー」代表。

## YMCA新ブランドロゴ・スローガン決まる！ 「みつかる。つながる。よくなっていく。」

北海道YMCA 総主事 秋葉 聡志



2013年から足掛け5年にわたり進めてきたYMCAブランディング・プロジェクトは、タスクや様々な会議など、実に100回を超え、2015～2016年はブランドの土台づくりとして、また、これからの時代における「YMCAとは」を考え抜き、YMCAブランドコンセプトを開発しました。そして2016年6月の同盟協議会で、このブランドコンセプトが高らかに発表されました。

そして、2016年からは、この開発されたブランドコンセプトに基づいて、次のステップ、社会とのコミュニケーションの軸となる柱づくりを進めてきました。実際に、多くの方にYMCAを選んでいただけるように、価値を魅力的に伝える要素として、またYMCAにかかわりのない人たちにも届く端的なメッセージとして、ブランドロゴ・スローガンの作成を進めてきました。そして新しいブランドロゴ・スローガンは、2017年6月の同盟協議会で発表され、10月からいよいよ表に出ていきます。しかし、同時にブランドコンセプトの背景にあるミッション、YMCA基本原則は、ロゴが変わっても変わらないもの、つまり神様がYMCAを通し果たそうとされるミッションであるということ。そのことを改めて心に刻み新しいブランドロゴ・スローガンをういていきたいと思えます。

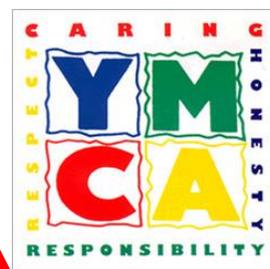
まずは、ブランド・スローガンを紹介します。ブランド・スローガンは、コンセプトに込められたエッセンスを魅力的に伝える端的なメッセージです。今後の対外的なコミュニケーション展開の核として、積極的に使用されるものです。今回、新たに開発されたブランド・スローガンは、「みつかる。つながる。よくなっていく。」です。ブランドコンセプトのバリュー、「みつかる。つながる。よくなる。」は、発表以来反響があり、多くの皆さんに慣れ親しんでいただきました。それを、外に向けてよりわかりやすく発信する言葉として、「みつかる。つながる。よくなっていく。」としました。



次にブランドロゴです。私たちが慣れ親しみ、歴史の一部である旧ロゴ「赤三角マーク」、正章に対して略章と呼んでいます。このロゴは、1890年代に北米の体育主事であったギュリックが開発した赤三角のロゴタイプをもとに、1980年東京YMCAデザイン研究所が一つに精緻化したもので、全国でそろって使われるようになりました。日本のYMCAには130年を超える歴史があります。その成果と価値を新たな未来へつないでいくために、YMCAはいま新たなブランドロゴを開発しました。

新たなブランドロゴは、「ポジティブY」です。鳥が飛び立とうとする瞬間の姿をモチーフにし、その姿をアルファベットのYが想起される形に重ね合わせています。ひとり一人の生命の息吹、未来へ向かう前向きな力、平和への思いを表現しています。「みつかる。つながる。よくなる。」という3つのバリューと、Spirit, Mind, Bodyを表す逆三角形が内包された構成で、新たにYMCAが提供を約束する価値と、変わることはないYMCAの精神の両方が込められています。

ブランディングは、私たちの夢や希望がたくさん詰まったYMCAのビジョンを実現するために行います。都市YMCAも学生YMCAも、大規模なYMCAも、中小規模のYMCAも、すべてのYMCAが一步一步着実に進めていくことによって、私たちの夢、ビジョンを実現していきたいと思えます。



## 近況報告～JICA 札幌でのアフリカ飲料水研修を終えて 小野 健

皆さま大変ご無沙汰してしまっております。幽霊部員の小野です。昨年からはブルキナファソのプロジェクトで多忙となり、日本とブルキナファソの往復で日本には1か月程度しか滞在していないという殆ど遠洋漁船の船員さんのような日々を送っています（札幌に残している家族には大変申し訳なく頭が上がりにません）。

そのような日々の中、今年の6月から7月にかけて白石区にある国際協力機構 JICA 北海道（札幌）での西アフリカからの水道行政官を対象とした研修を行いました。今回は近況報告も兼ねてこの研修の様相を紹介したいと思います。



**技術指導をする小野会員。各国の事情に合わせて細かく技術指導が大切です。**

この「アフリカ村落飲料水管理」研修コースは、西アフリカ各国の村落部の給水行政（日本の都市のような大規模な水道施設ではなく、手押しポンプや簡易水道が中心です）を担当している若手の行政官を対象とした JICA の研修事業の一つです。この研修コースは藤女子大学が10年近く前から担当しており、私も数年前から講師を務めさせて頂いていたのが縁で、昨年からは私の会社が研修業務を仰せつかっています。昨年はブルキナファソでの仕事の関係から初めの部分の講師としての関わりでしたが、今年は研修全体のコーディネーター兼講師として、最初から最後まで関わることになりました。

今回の研修は北海道（札幌市、東川町）⇒東京・高山市⇒再び札幌、というプログラムで約1か月半に渡り行われました。参加者はベナン、ブルキナファソ、チャド、ニジェール、コートジボワール、マリ、セネガル、ギニアの8か国から計10名（うち女性はセネガルからの1名）の若手・中堅クラスの村落給水を担当している行政官です。本研修コースは水道技術の習得といったハード面ではなく、如何にして自治体や住民コミュニティが建設された井戸や簡易水道を持続的に運営管理していくかに焦点を置いたソフト系の研修というのが特徴です。

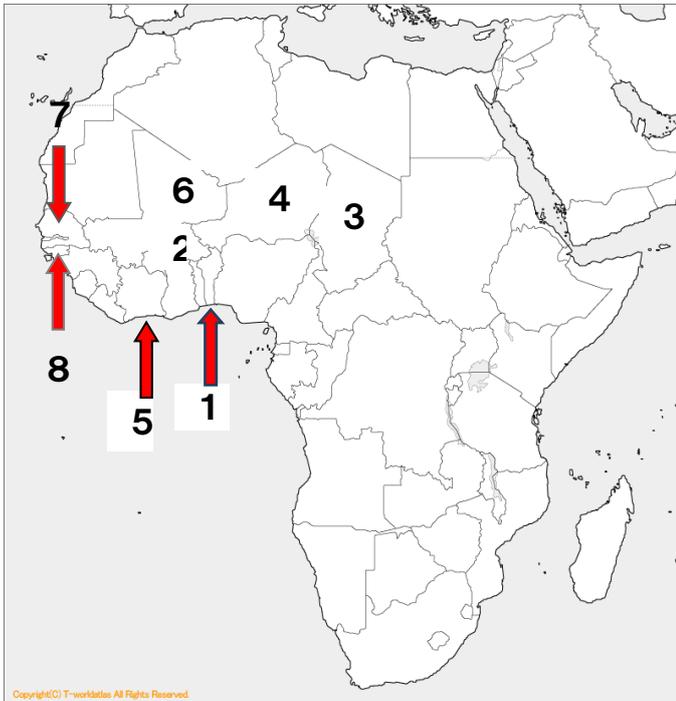
北海道内や東京の大学や研究機関、NPO 法人、民間企業の皆さんによる講義や実習、札幌市水道局や東川町、岐阜県高山市の浄水場や簡易水道施設などの視察、JICA プロジェクトや日本の国際協力事業の紹介、現地の課題を的確に分析して解決策としてプロジェクトを立案する手法の習得、研修員による各国の給水事情や施設の維持管理に関する問題やチャレンジなどについての情報交換や議論（この部分で私がファシリテーターを務めていました）など、非常にバラエティに富んだ講義や実習を経て、研修で学んだ知見を活かして自分たちの国で実施するアクションプランとして取りまとめました。



**札幌市の藻岩浄水場を見学しました。  
「いつか僕らの国もこんな素晴らしい  
水利施設を持つんだ!」**



**講義が終わったらいつも講師を質問攻めに。  
弱熱した議論が展開されました。**



小野会員が研修を担当した国はベナン、ブルキナファソ、チャド、ニジェール、コートジボワール、マリ、セネガル、ギニアの8か国に及びます。どこにあるかお分かりでしょうか？

2か国以上答えられたらかなりのアフリカ通と言えましょう。正解は以下の通りです。

- 1.ベナン 2.ブルキナファソ 3.チャド
- 4.ニジェール 5.コートジボワール
- 6.マリ 7.セネガル 8.ギニア

今回の研修員10名は皆非常にまじめで積極的に研修プログラムに取り組んでくれ、日本で出来るだけ多くのことを学ぼうという気概に満ち溢れていました。事前に配布した資料はきちんと予習しており、どの講義や視察先でもきちんとノートを取り、講師の方たちを質問攻めにし、時間が足りなくなってしまう、休憩時間には研修員達で見知ったことについて熱く語り合うという毎日でした。講師の方や我々オーガナイザーも驚いたのですが、ほぼ皆講義の5分前には席についており、我々が机を並べ替えたり講義前に資料を配る時には皆で手伝ってくれたり、ゴミはしっかりと分別して捨てるなど、素晴らしいマナーとまじめさを持った研修員達でした。

研修での講義や視察だけでなく、生け花や書道、日本語講習などの日本文化体験プログラムやJICA北海道センター内の研修員間の交流活動、旭山動物園や岐阜県高山市の三町を訪問するなど、日本の文化にも少しは触れることが出来たのではと思います。

編集部より：

本稿はこの会員より9月の「巻頭言」として頂いたものですが、力作などで見開きの「特集ページ」として編集致しました。発展途上国のために素晴らしい働きをしている会員がいることは札幌クラブの誇りです。今度札幌で研修会があるときはクラブもお手伝いしましょう。

札幌の地下鉄の乗り方が分からないで困っているときに見知らぬお婆さんが乗り場まで案内してくれた！と感激して私に話してくれた研修員。街がいつもきれいで割り込みをしないで礼儀正しく列待ちをしている人たちを見て、どうしたら自分たちの国の人たちを変えていくべきかと真剣に議論していた研修員達。研修期間を通じてずっと彼らと一緒に過ごせたことは気苦勞も多く大変でしたが、彼らから学ぶことも多かった毎日でした。

最も良い季節に札幌を満喫して充実した研修を終えた彼らは、自分たちの国で日本で学んだことを生かそうと奮闘しているところです。来年はこれまでの研修卒業生を集めたセミナーをアフリカで開催する計画もあり、自国の人たちに安全な水を送り届ける彼らの仕事をこれからもサポートしていきたいと考えています。



NHKのインタビューを受ける研修員（緊張でガチガチでした。（笑））



終了式 皆晴れやかな笑顔です。



受講生と小野一家。左端が小野会員。右端が小野夫人。中に子供さんのひかる君、のぞみ君。

## YMCA ニュース 担当主事 佐藤 雅一

### ① 120周年記念ジャズコンサート

いよいよ9月21日(木)に「飯田さつきトリオコンサート」の日を迎えます。

チケットの販売にご協力頂き感謝申し上げます。引き続きご協力をお願いします。

当日は是非ご家族でジャズを楽しみにご来場下さい。

#### ① ユースボランティアリーダーズフォーラム

9月8日(金)～10日(日)東京YMCA山中湖センターで行われる第30回ユースボランティアリーダーズフォーラムに札幌で野外活動リーダーとして活動している阿部 悠さん・北見ブランチの角張翔太さんの2名が参加します。

### ② 専門学校国際活動報告会

9月30(土)13:30からTKP札幌ホワイトビル カンファレンスセンターにおいて専門学校生による国際活動報告会が行われます。

報告会では、カナダ語学研修に参加した学生による発表が行われます。是非お越しください。

### ③ チャリティーパークゴルフ

9月18日(月)チャリティーパークゴルフ大会が八剣山パークゴルフ場で開催されます。パークゴルフは誰でも簡単に楽しめるスポーツで、子供から大人まで一緒にプレーを行うことができます。この大会では、大人の部と子供の部に分かれて行い、経験と性別によってハンディが決められています。大会の収益金は、北海道YMCAの障害児プログラム支援のために使われます。是非ご参加ください。参加希望の方は佐藤までご連絡ください。



締切9月9日

### ④ 全館避難訓練

9月25日(月)札幌で全館避難訓練が行われます。当日は10時から避難訓練を開始し、主に幼稚舎・専門学校生が実際に避難すると共に、大人の会員には避難に関するインフォメーションが行われます。

### ⑤ クライミングウォール建設募金

クライミングウォール建設募金にご協力をお願いします。既にご協力頂いている方には感謝申し上げます。9月19日よりいよいよ作業が開始になります。11月8日には募金にご協力頂いた方を対象とした体験会。10月15日のバザーでは記念のイベント、11月3日に会員大会では献堂式が行われます。120周年記念事業最大の取り組みですので、なんとしても成功させたいとスタッフ一同取り組んでいます。ご支援ご協力のほど宜しくお願いします。



## 9月の強調月間 ユースとは?

「ユース」はもちろん英語の Youth 「若者、青年」です。東日本区は次代のワイズを担うユースを育てるために活発なユース事業を行っています。いくつかを紹介しします。

- ▼ユースボランティア・リーダーズフォーラム主催 (9月8～10日東京YMCA山中湖センター)、
- ▼AYC (アジアパシフィックエリア・ユースコンボケーション) チェンマイ、タイ
- ▼IYC (国際ユースコンボケーション) にユース派遣 韓国 2018年8月6～18日
- ▼【YMCA地球市民育成プロジェクト2017夏期研修アクションプラン発表会】にユース派遣 9月3日(日)13時半～16時 YMCA東山荘
- ▼なおロースターのページの下の広告の収入はすべてユース事業のために使われています。



## えぞモンキーとは?

えぞモンキーとは北海道は札幌を中心に年齢や国籍、障害の有無にかかわらずスポーツクライミングを楽しむ「交流型クライミングイベント」を開催する団体です。壁の前では誰もがチャレンジャーです。

初心者も熟練者も誰もが自分のペースで自分の課題に向き合い、応援しあえることがスポーツクライミングの魅力です。

**パラクライマーの活躍:** 2017年のパラクライミング日本選手権大会にて男子B1(全盲)部門3位、男子RP(神経障害)部門2位をとりました。冬にはアイスクライミングにチャレンジするなどその活動範囲は多岐にわたり可能性を模索しています。代表は卓話者の大越創君(独身)です。



## ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、  
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、  
社会には奉仕第一を旨としよう。